中 病 第 49 号
令和元年 5月31日

中津川市長　青山　節児　殿

中津川市民病院
病院長　　安藤　秀勇

業務状況説明書類の提出について

中津川市病院事業の設置等に関する条例第7条の規定による業務の状況を説明する書類の作成のため、別紙のとおり報告します。

記

1．平成30年度下半期業務及び経理の状況（中津川市民病院）

2．平成31年度予算の概況及び経営方針　（中津川市民病院）

平成30年度下半期の状況（中津川市民病院）

平成30年度下半期の状況は、延べ入院患者数で47,547人(1日あたり261.2人)、病床利用率は72.7%でした。これを前年度下半期と比較すると、1.8ポイントの増となりました。延べ外来患者数は、92,835人（1日あたり773.6人）でした。これを前年度下半期と比較すると、1日あたりでは、1.6人の増となりました。

医業収支の状況は、医業収益が3,513,705千円（前年度比101.2%）、医業費用が4,292,775千円（前年度比104.7%）で、医業損失が779,070千円発生しました。また、医業外収益が45,166千円（前年度比100.2%）、医業外費用が268,075千円（前年度比102.0%）となり、この結果下半期の経常損失が、1,001,979千円発生しました。

なお、上半期の経常収支において、571,765千円の経常利益が生じていましたが、通算で430,214千円の経常損失となり、平成30年度においては、修学資金貸付金の免除分等6,220千円を特別損失に計上したことにより436,434千円の純損失が見込まれます。

平成30年度下半期の概況（中津川市民病院）

1患者利用状況　　単位：人

区　分	下半期	月平均延数	一日平均数
入　院	47,547	7,924.5	261.2
外　来	92,835	15,472.5	773.6
合　計	140,382	23,397.0	1,034.9

2診療収入状況　　単位：千円　　単位：円

区　分	下半期収入	月平均収入	一人一日あたり診療収入
入　院	2,343,220	390,536.7	49,282
外　来	1,017,736	169,622.7	10,963
合　計	3,360,956	560,159.4	*******

3経理の状況

収益的収支　　単位：千円

区　分	金　額	区　分	金　額
病院事業収益	3,558,871	病院事業費用	4,567,070
医業収益	3,513,705	医業費用	4,292,775
医業外収益	45,166	医業外費用	268,075
		特別損失	6,220

資本的収支　　単位：千円

区　分	金　額	区　分	金　額
資本的収入	859,843	資本的支出	745,682
出資金	357,627	建設改良費	458,072
企業債	491,900	企業債償還金	268,750
補助金	8,916	修学資金等貸付金	18,860
貸付金返済金	1,400		

平成３１年度中津川市病院事業経営方針（中津川市民病院）

１．地域医療における役割強化に努めます。

①診療部の強化

・中長期観点からの医師確保

・医学生等への情報提供強化

・職員研修によるスキルアップ

・安全と経営を意識した部門の強化

②看護部の強化

・看護部組織の確立

・中長期的観点からの看護師・助産師・補助者等の適正人数検討及び確保

・離職防止策の検討と実施

・看護学生等への情報提供の強化

・安全と経営を意識した部門の強化

③薬剤部の強化

・中長期観点からの薬剤師・補助者等の適正人数の検討及び確保

・薬学部学生等への情報提供の強化

・安全と経営を意識した部門の強化

④医療技術部の強化

・中長期観点からの医療技術職員の適正人数の検討及び確保

・学生等への情報提供の強化

・安全と経営を意識した部門の強化

⑤事務部門の強化

・事業部組織のスムーズな組織運営の確立

・中長期観点からの職員の適正人数の検討及び確保

・安全と経営を意識した部門の強化

⑥地域医療連携（入院前・入院中・退院後）の強化

・地域医療組織の確立

・近隣医療機関のニーズ調査

・急性期病棟・地域包括ケア病棟のベッドコントロール

・在宅療養後方支援病院、生活支援・重症心身障がい児者医療型短期入院の安定的運営

・訪問看護ステーション開設についての検討

２．患者様の権利や満足度向上を進めます。

⑦患者満足度の向上

・接遇を含め患者様との信頼関係の構築

・患者満足度調査とその分析

⑧施設環境の改善

・安全性と働きやすさを考慮した施設環境の改善

・地域の役割を意識した施設の整備

・地域の役割を意識した施設の整備

⑨職業倫理の確立

・患者さまの権利の確立と職員教育

・医療、学会等の状況にあった倫理の場の運営

⑩情報の開示・発信

・市民への十分な周知（臨床情報、地域医療、病院教育等）

・職員確保に繋がる情報の発信

・職員への情報発信（臨床情報、診療報酬制度改正等、職員が知るべき情報の発信）

３．知識や技術向上のための教育強化に努めます。

⑪職員のスキル向上

・職員全体の教育、研修管理

・人事評価の確実な実施と評価項目の検討

４．協働意識の醸成やコミュニケーションを図ります。

⑫医療安全

・職員教育の徹底と職員（特に医師）の個別研修の導入

・医療事故の対策・対応

・医療事故を無くす、医療アクシデントを減らす

・防止、対策の検討及び実施した対策の評価

・次世代担当者の育成

⑬感染対策

・職員教育の徹底、感染対策意識の向上

・安全な医療を第一に、経済性も考慮した感染対策の徹底

・アウトブレイク防止

・実施した感染対策の評価

・次世代担当者の育成

⑭職員満足度の向上

・職場満足度調査、ラウンド等の実績とその分析

・ハラスメント等対策

・満足度調査に基づく離職防止につながる具体的方策の立案

５．健全経営を確立します。

⑮短期・中長期計画による病院再整備の検討

・短期計画（3 年以内）と国、県等からの支援事業

病床利用計画の立案、院内研修計画等の検討

国策に沿った新事業計画による再整備、国、県等からの支援事業の検討

・中長期計画

次期公立病院改革プランの作成

新病院建設プラン等の検討

⑯診療報酬業務の適正化と新医療制度、診療報酬制度への対応

・新診療報酬制度への対応

・診療単価の前年度比 5%増加

・加算等の確実な算定と新たな加算等の情報分析

⑰病床の有効運用

・急性期病棟　病床利用率 85%（237 床稼動）

・地域包括ケア病棟　病床利用率 95%（79 床稼動）

・収益性を考慮した病棟利用とタイミングのよい転棟

⑱外来の効率的運用

・外来機能の集約や効率的配置、限られたスペースの有効利用

・既存診療科の拡張、新規診療科の環境整備

⑲健康管理センターの強化と収益向上

・坂下病院からの業務移管の対応

・収益前年度比 10%増加

⑳手術室の効率的運用

・増加する手術件数に対応し、効率的な手術室の運用

・午前手術等、時間外を少なくするための検討

㉑費用の適正化

・外部契約業者との契約の適正化と機能維持

・前年度比経費 5%削減

・働き方改革を意識した時間外の管理

平成31年度予算及び業務量（中津川市民病院）

1患者利用予定　　単位：人

区　分	年度間	月平均延数	一日平均数
入　院	99,552	8,296.0	272.0
外　来	198,000	16,500.0	825.0
合　計	297,552	24,796.0	1,097.0

2診療収入予定　　単位：千円　　単位：円

区　分	年度間収入	月平均収入	一人一日あたり診療収入
入　院	5,030,362	419,196.8	50,530
外　来	2,227,500	185,625.0	11,250
合　計	7,257,862	604,821.8	*******

3経理の予定

収益的収支　　単位：千円

区　分	金　額	区　分	金　額
病院事業収益	8,397,425	病院事業費用	8,397,425
医業収益	7,750,000	医業費用	8,224,205
医業外収益	647,425	医業外費用	145,460
		予備費	1,000
		特別損失	26,760

資本的収支　　単位：千円

区　分	金　額	区　分	金　額
資本的収入	597,423	資本的支出	822,560
出資金	200,373	建設改良費	436,399
企業債	394,850	企業債償還金	342,561
補助金	1,200	修学資金等貸付金	43,600
貸付金返済金	1,000		